

令和元年 第1回臨時会

苫小牧港管理組合議会会議録

令和元年6月3日開催

苫 小 牧 港 管 理 組 合 議 会

令和元年 第1回臨時会
苫小牧港管理組合議会

令和元年6月3日（月曜日） 午後1時52分開会

○本日の会議に付議した事件

日程第1 仮議席の指定

日程第2 会議録署名議員の指名について

日程第3 会期の決定について

日程第4 議長の選挙について

日程第5 副議長の選挙について

日程第6 議席の指定

日程第7 報告第1号から報告第4号について

報告第1号 専決処分の承認を求めることについて（苫小牧港管理組合職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例）

報告第2号 予算の繰越しについて（平成30年度苫小牧港管理組合一般会計）

報告第3号 予算の繰越しについて（平成30年度苫小牧港管理組合港湾整備事業特別会計）

報告第4号 専決処分の報告について（工事請負契約の変更）

日程第8 議案第1号について

議案第1号 令和元年度苫小牧港管理組合港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）について

○出席議員（10人）

1番	赤根 広介 君	6番	神戸 典臣 君
2番	池田 謙次 君	7番	木村 司 君
3番	岩田 薫 君	8番	富岡 隆 君
4番	太田 憲之 君	9番	牧田 俊之 君
5番	沖田 清志 君	10番	遠藤 連 君

○説明員出席者

管 理 者	岩倉 博文 君
専任副管理者	佐々木 秀郎 君
副 管 理 者	福原 功 君
総 務 部 長	小名 智明 君
施 設 部 長	道脇 正則 君

港 湾 政 策 室 長	三 田 弘 志 君
政 策 推 進 課 長	山 崎 直 人 君
総 務 課 長	大 槻 悟 君
計 画 課 長	早 崎 仁 康 君
施 設 課 長	玉 置 淳 二 君
業 務 経 営 課 長	白 川 友 秀 君
会 計 管 理 者 兼 出 納 室 長	細 谷 則 之 君
総 務 課 長 補 佐	竹 内 章 洋 君
業 務 経 営 課 長 補 佐	河 内 俊 介 君
施 設 課 長 補 佐	小 亀 巧 君

監 査 委 員	渡 邊 直 樹 君
監 査 委 員	小 山 征 三 君
監 査 委 員 事 務 局 長	前 田 正 実 君
監 査 委 員 事 務 局 主 幹	鍛 冶 貴 宏 君
監 査 委 員 事 務 局 副 主 幹	長 崎 洋 子 君

○事務局職員出席者

事 務 局 長	大 槻 悟 君
庶 務 係 長	竹 内 章 洋 君
議 事 係 長	内 山 隼 典 君
書 記	豊 田 卓 也 君

○臨時議長の選出

○事務局長（大槻 悟君） 事務局より申し上げます。

本日の臨時会は、改選後最初の議会でありますので、議長が選挙されるまでの間は、地方自治法第107条の規定によりまして、年長の議員が臨時に議長の職務を行うこととなっております。

したがって、神戸典臣議員が年長でございますので、御紹介申し上げる次第でございます。

神戸議員、議長席のほうにお願いいたします。

○臨時議長（神戸典臣君） ただいま御紹介をいただきました神戸典臣でございます。

地方自治法第107条の規定によりまして、臨時に議長の職務を務めさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

○開会

○臨時議長（神戸典臣君） これより、本日をもって招集されました令和元年第1回臨時会を開会いたします。

○議員の自己紹介

○臨時議長（神戸典臣君） この際、お諮りをいたします。

このたびの選挙におきましては、お互いに当選の栄誉を担い、当管理組合議会の議員に選出されたわけでございます。

このたび、新たに当管理組合議会議員になられた方々もおられますので、議員各位の自己紹介をお願いしたいと思います。いかがでございましょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（神戸典臣君） 御異議がないようでありますので、自己紹介をお願いをいたします。

赤根広介議員から、順次お願いをいたします。

○赤根広介君 皆さん、大変お疲れさまでございます。

改選前に続き、北海道議会より御選出をいただきました赤根広介でございます。

所属会派は、北海道結志会でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○池田謙次君 苫小牧市議会選出の公明党の池田でございます。

よろしくお願いいたします。

○岩田 薫君 苫小牧市議会選出の岩田 薫でございます。民主クラブでございます。

よろしくお願いいたします。

○遠藤 連君 北海道議会、自民党・道民会議の遠藤 連と申します。

よろしくお願いいたします。

○太田憲之君 私は、北海道議会から選出されました自民党・道民会議の太田憲之と申します。

よろしくお願いします。

○沖田清志君 北海道議会、民主・道民連合の沖田でございます。

よろしくお願いします。

○木村 司君 苫小牧市議会、木村 司です。

よろしくお願いいたします。

○富岡 隆君 苫小牧市議会、富岡 隆と申します。

会派は、共産党苫小牧市議団です。

よろしくお願いいたします。

○牧田俊之君 苫小牧市議会選出、牧田俊之、所属は改革フォーラムです。

よろしくお願いいたします。

○臨時議長（神戸典臣君） 最後でございますが、道議会から選出されました神戸典臣でございます。

所属は、自民党・道民会議でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、議員各位の自己紹介を終わらせていただきます。

○管理者挨拶、特別職及び管理職員紹介

○臨時議長（神戸典臣君） 管理者から挨拶並びに管理組合の特別職の方々を議員各位に御紹介したい旨、申し出がありますので、これを許します。

管理者、岩倉博文君。

○管理者（岩倉博文君） 苫小牧港管理組合管理者の岩倉博文でございます。

本臨時会の開催に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、さきの統一地方選挙で、多くの道民や市民の皆様から負託を受け、北海道議会議員及び苫小牧市議会議員に御当選されましたこと、また、当管理組合議会の議員に選出されましたことを心よりお喜びを申し上げます。

私も、北海道知事との協議の結果、これから2年間、引き続き当管理組合の管理者を務めさせていただくことになりました。改めて、どうぞよろしくお願いいたします。

苫小牧港は、昭和38年の開港以来、北日本最大の国際拠点港湾として、我が国の経済を支える役割を着実に果たすとともに、北海道と苫小牧市の発展に寄与してまいりました。

平成30年の苫小牧港の取扱貨物量は、約1億740万トンとなり、6年連続で億トン港を果たしております。

しかしながら、我が国は、少子高齢化に伴う人口減少により、労働力不足による物流への影響も懸念されているところであり、効率的な物流体系の構築に向けた、さらなる港湾機能の強化が求められているところでございます。

このような中、本年３月には、苫小牧港の将来の目指すべき姿をまとめた「苫小牧港長期構想」を策定いたしました。

その主な取り組みといたしましては、物流面において、道産農水産品の輸出促進に向けたフードコンプレックスの形成や生産性向上のための物流体系の構築、さらに、昨年発生いたしました北海道胆振東部地震などの災害時における物流機能を維持するための強靱化の推進など、将来を見据えたさまざまな取組について戦略的な機能強化を図っていく所存でございます。

皆様におかれましても、苫小牧港発展のために、さらなる御支援を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶にさせていただきます。

続きまして、私から管理組合の特別職の方々を紹介させていただきます。

まず、専任副管理者の佐々木秀郎でございます。

非常勤の副管理者であります苫小牧市副市長の福原 功でございます。

もう一人の非常勤の副管理者であります黒田敏之北海道総合政策部長兼交通企画監は、本日所用のため欠席させていただいております。御了承をいただきたいと思います。

次に、監査委員を紹介させていただきます。

北海道から選出されております代表監査委員の渡邊直樹監査委員でございます。

同じく、苫小牧市選出の小山征三監査委員でございます。

以上でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○臨時議長（神戸典臣君） 次に、専任副管理者から管理職員の紹介をお願いいたします。

専任副管理者、佐々木秀郎君。

○専任副管理者（佐々木秀郎君） それでは、私から当管理組合の管理職員を紹介させていただきます。

総務部長の小名智明でございます。

施設部長の道脇正則でございます。

港湾政策室長の三田弘志でございます。

政策推進課長の山崎直人でございます。

総務課長の大槻 悟でございます。

なお、総務課長は、議会事務局長を兼務しております。

業務経営課長の白川友秀でございます。

計画課長の早崎仁康でございます。

施設課長の玉置淳二でございます。

会計管理者兼出納室長の細谷則之でございます。

総務課長補佐の竹内章洋でございます。

なお、総務課長補佐は、議会事務局庶務係長を兼務しております。

業務経営課長補佐の河内俊介でございます。

そして、施設課長補佐の小亀 巧でございます。

以上でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○臨時議長（神戸典臣君） 次に、監査委員から監査委員事務局の管理職員の紹介をお願いします。

監査委員、渡邊直樹君。

○監査委員（渡邊直樹君） それでは、御紹介をさせていただきます。

監査委員事務局長の苫小牧市監査委員事務局長 前田正実でございます。

監査委員事務局主幹の苫小牧市監査委員事務局主幹 鍛冶貴宏でございます。

監査委員事務局副主幹の苫小牧市監査委員事務局副主幹 長崎洋子でございます。

以上でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○臨時議長（神戸典臣君） 以上をもちまして、それぞれの紹介を終わります。

○開議

○臨時議長（神戸典臣君） これより本日の会議を開きます。

○仮議席の指定

○臨時議長（神戸典臣君） 日程第1「仮議席の指定」を行います。

仮議席は、ただいま御着席の議席を指定いたします。

○会議録署名議員の指名

○臨時議長（神戸典臣君） 日程第2「会議録署名議員の指名」を行います。

会議録署名議員は、会議規則第85条の規定により、議長において、赤根広介議員及び池田謙次議員を指名いたします。

○会期の決定

○臨時議長（神戸典臣君） 日程第3「会期の決定」についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと存じますが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（神戸典臣君） 御異議なしと認めます。

よって、会期は、本日1日間と決定いたしました。

この際、暫時休憩いたします。

午後 2 時 0 4 分 休憩

午後 3 時 1 6 分 再開

○再開

○臨時議長（神戸典臣君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

○議長の選挙について

○臨時議長（神戸典臣君） 日程第 4 「議長の選挙について」お諮りをいたします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第 118 条第 2 項の規定により、指名推選によりたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（神戸典臣君） 御異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は、指名推選によることに決しました。

さらに、お諮りをいたします。

指名の方法は、臨時議長において指名することとしたいと存じます。

これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（神戸典臣君） 御異議なしと認めます。

よって、臨時議長において指名することに決しました。

議長に遠藤 連議員を指名いたします。

お諮りをいたします。

ただいま指名しました遠藤 連議員を議長の当選人と定めることに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（神戸典臣君） 御異議なしと認めます。

よって、遠藤 連議員が苫小牧港管理組合議会議長に当選をされました。

ただいま議長に当選されました遠藤 連議員が議場におられますので、本席から会議規則第 27 条第 2 項の規定により、当選の告知をいたします。

遠藤 連議長は、議長席にお着きいただき、御挨拶をお願いをいたします。

それでは、遠藤 連議長と交代をいたします。

御協力ありがとうございました。

○議長就任挨拶

○議長（遠藤 連君） ただいま皆様方の御推挙によりまして、議長に選任をされました遠藤連でございます。

重責に身の引き締まる思いでございます。

先ほど管理者からお話がありましたように、苫小牧港の取扱貨物量は、6年連続で1億トンを突破するなど着実に発展をしておりますが、課題もまた多くございます。

私は、本道経済と道民生活を支える苫小牧港の発展のため、誠心誠意職務の遂行に当たりますとともに、議会の円滑なる運営に意を尽くしてまいりたいと存じますので、皆様方の一層の御支援と御協力をお願いを申し上げまして、御挨拶といたします。

どうぞよろしくお願い申し上げます。（拍手）

○副議長の選挙について

○議長（遠藤 連君） 日程第5「副議長の選挙について」お諮りをいたします。

選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定により、指名推選によることとし、指名の方法については、議長において指名することにいたしたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 御異議なしと認めます。

よって、選挙の方法は、指名推選によることとし、議長において指名することに決しました。

御指名を申し上げます。

副議長に牧田俊之議員を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま指名いたしました牧田俊之議員を副議長の当選人と定めることに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 御異議なしと認めます。

よって、牧田俊之議員が苫小牧港管理組合議会副議長に当選をされました。

ただいま副議長に当選されました牧田俊之議員が議場におられますので、本席から、会議規則第27条第2項の規定により、当選の告知をいたします。

それでは、副議長に御挨拶をお願いいたします。

○副議長（牧田俊之君） ただいま皆様の御推挙をいただき、副議長を拝命いたしました牧田俊之です。

全力で議長をお支えし、さらなる苫小牧港の発展、港勢振興に全力で努めてまいりたいと思います。どうか皆様、引き続きの御支援、御指導をよろしくお願い申し上げます。

ありがとうございました。（拍手）

○議席の指定

○議長（遠藤 連君） 日程第6「議席の指定」を行います。

事務局に議席案を配付させます。

議席は、会議規則第3条第1項の規定により、議長において配付のとおり指定をいたします。

それでは、指定された席に移動をお願いいたします。

会議を再開いたします。

○報告第1号 専決処分の承認を求めることについて

○議長（神戸典臣君） 日程第7、報告第1号「苫小牧港管理組合職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について専決処分の承認を求めることについて」を議題といたします。

説明を求めます。

総務部長、小名智明君。

○総務部長（小名智明君） 報告第1号「苫小牧港管理組合職員の自己啓発等休業に関する条例の一部を改正する条例について専決処分の承認を求めることについて」を御説明申し上げます。

議案等の1ページをご覧ください。

本報告につきましては、本来議会で御審議いただくべきものでございますが、諸般の事情により、平成31年3月20日に、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したものでございます。

このたびの改正は、学校教育法の改正に伴い、条例で引用している同法の条項に移動があったため、関係規定を整備するもので、施行期日は、平成31年4月1日でございます。

以上、報告第1号について御説明申し上げます。

御承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠藤 連君） ただいまの説明に関し、質疑等ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） なければ、本件を承認することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 御異議なしと認めます。

よって、本件は、承認することに決定をいたしました。

○報告第2号 予算の繰越しについて

○報告第3号 予算の繰越しについて

○議長（遠藤 連君） 次に、報告第2号及び第3号「予算の繰越しについて」を一括して議題

といたします。

説明を求めます。

総務部長、小名智明君。

○総務部長（小名智明君） 報告第2号及び報告第3号「予算の繰越しについて」を御説明申し上げます。

初めに、報告第2号一般会計予算の繰越しについてでございます。

議案等の11ページ、「平成30年度苫小牧港管理組合一般会計予算繰越明許費繰越計算書」をご覧ください。

この繰越明許費につきましては、平成30年9月に発生いたしました「平成30年北海道胆振東部地震」に伴う災害復旧事業費に関し、平成31年第1回定例会において、総額13億2,530万3,000円で繰越明許費の設定の議決をいただいたところでございますが、このたび繰越額が総額9億8,225万円に確定したことから御報告するものでございます。

続きまして、報告第3号港湾整備事業特別会計予算の繰越しについてでございます。

議案等の17ページ、「平成30年度苫小牧港管理組合港湾整備事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書」をご覧ください。

この繰越明許費につきましては、平成30年9月に発生いたしました「平成30年北海道胆振東部地震」に伴う災害復旧事業費に関し、平成31年第1回定例会において、総額17億6,287万6,000円で繰越明許費の設定の議決をいただいたところでございますが、このたび、繰越額が総額16億8,388万7,000円に確定したことから御報告するものでございます。

以上、報告第2号及び報告第3号につきまして、地方自治法施行令第146条第2項の規定により御報告申し上げます。

○議長（遠藤 連君） ただいまの説明に関し、質疑等ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 質疑がなければ、本件は終了いたします。

○報告第4号 専決処分の報告について

○議長（遠藤 連君） 次に、報告第4号「専決処分の報告について」を議題といたします。

説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（小名智明君） 報告第4号工事請負契約の変更に伴います「専決処分の報告について」を御説明申し上げます。

議案等の21ページをご覧ください。

本報告につきましては、平成29年7月14日の平成29年第1回臨時会において議決をいただきました工事請負契約について、平成31年3月4日付けで地方自治法第180条第1項の規

定により契約変更に関する専決処分を行ったものでございます。

25ページの報告第4号資料をご覧ください。

契約変更の内容といたしましては、消火・受電設備工事などに関する設計変更に伴いまして、請負代金額を1,500万1,200円減額し、7億2,686万1,600円に変更したものでございます。

以上、報告第4号につきまして、御説明申し上げました。

○議長（遠藤 連君） ただいまの説明に関し、質疑等ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 質疑がなければ、本件は終了いたします。

○議案第1号 令和元年度苫小牧港管理組合港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）について

○議長（遠藤 連君） 次に、議案第1号「令和元年度苫小牧港管理組合港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）について」を議題といたします。

説明を求めます。

専任副管理者、佐々木秀郎君。

○専任副管理者（佐々木秀郎君） 議案第1号「令和元年度苫小牧港管理組合港湾整備事業特別会計補正予算」について説明申し上げます。

今回の補正につきましては、納期または工期が2カ年にわたる契約に係る債務負担行為についてでございます。

議案等の31ページをご覧ください。

第1条に記載の地方自治法第214条の規定により、債務を負担できる事項、期間及び限度額についてであります。

32ページをご覧ください。

初めに、ガントリークレーン用スプレッド購入につきまして、その納期が令和元年度から令和2年度の2カ年度にわたるため、令和2年度における債務負担行為の限度額として4,800万円を計上するものでございます。

37ページの補正予算資料1をご覧ください。

東港区国際コンテナターミナルに設置していますガントリークレーン3基のうち、1号機用に保有している交換用のスプレッドは、購入から14年が経過し、老朽化が著しく使用できない状況にあります。

このため、現在使用しているスプレッドの故障時において修復時間を要しますと、ガントリークレーン1号機を長期間停止せざるを得なくなり、ターミナル運営に多大な影響を与えますことから、交換用スプレッドを購入するものでございます。

しかしながら、スプレッドの購入に当たりまして、その納期をメーカーに確認しましたところ、

設計、特殊鋼の確保及び製作等に約１３カ月を要することが判明いたしまして、納期が令和２年度までの２カ年にわたることとなったものでございます。

戻りまして、３２ページをご覧ください。

西港区南ふ頭上屋建設につきまして、その工事施工期間が、令和元年度から令和２年度の２カ年度にわたるため、令和２年度における債務負担行為の限度額として３億円を計上するものでございます。

３９ページの補正資料２をご覧ください。

この上屋の建設につきましては、利用者からの要望等もあり、今年度内の工事完成を予定しておりましたが、近年の鉄骨造建築物の建設増及び東京オリンピック開催に向けた建設案件が活況となっている影響から、工事施工に必要となるハイテンションボルトの調達に８カ月以上を要することが判明いたしまして、その調達期間を勘案しますと、工期が令和２年度までの２カ年にわたることとなったものでございます。

以上、議案第１号につきまして、御説明申し上げました。

御審議の上、御承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（遠藤 連君） ただいまの説明に関し、質疑等ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） なければ、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入りますが、反対、賛成の討論はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） なければ、これをもって討論を終結いたします。

それでは、議案第１号についてお諮りいたします。

議案第１号を原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（遠藤 連君） 御異議なしと認めます。

よって、議案第１号は、原案のとおり可決されました。

○閉会

○議長（遠藤 連君） 以上をもちまして、本議会に付議された案件は全て議了いたしました。

閉会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

本臨時会に付議されました案件は、報告４件、議案１件であります。皆様方の御協力により、滞りなく議了いたしましたことに、議長として厚く御礼を申し上げますとともに、議員各位の熱心な御審議を得ましたことに、重ねて御礼を申し上げます。

これをもちまして、令和元年第１回臨時会を閉会いたします。

御苦労さまでございました。

(了)

午後 3 時 3 4 分 閉会